

アクションプラン 1-1の達成状況と方策

強調週間を設け、時と場に応じて気持ちのよい挨拶『**あ**いてを見て **い**つでも **さ**きに（自分から）**つ**たえる（場に応じた声の大きさで）』を1日5回以上できる児童の割合が全体の90%以上になることを目指す。

<取組状況>

- ・児童玄関でのあいさつ運動（月・水・金）では、昨年度に引き続き、ボランティアの呼びかけを計画委員会が行っている。
- ・計画委員が呼びかけのポスターを作成し、あいさつ運動の日の前日に各教室に掲示することで意識付けを図った。
- ・計画委員の児童が挨拶を促すため「ハイタッチうちわ」を持ち、挨拶を行っている。多くの児童が挨拶を返し、ハイタッチに応じている。
- ・昼の放送での「さわやかあいさつさん」の紹介（毎週金曜日）は児童の挨拶への意欲向上に効果がみられる。

<達成状況（中間評価）>

○「できるようになったかな」チェックの結果より（児童の自己評価）

- ・「自分から進んで気持ちのよい挨拶を5回以上した」・・・86%

○「地域指導員の皆様へ」の結果より

- ・「自分から進んで気持ちのよい挨拶をしていた」・・・4段階中平均3.2

<今後の方策>

○相手を意識した挨拶を推奨する。

- ・「〇〇さん、おはよう」や「（顔を合わせて）おはよう」というように、誰に対して挨拶をしているのか意識付けさせる。教師もそのような挨拶を励行する。

○保護者や地域と共に挨拶を推奨する。

- ・村椿更生保護女性部による「朝のさわやかあいさつ運動」（4月、9月の毎週水曜日7:45～8:00）が行われるので、事前に計画委員会から全校へお知らせをする。
- ・学年だより等で、児童の挨拶の様子を知らせたり、挨拶の大切さを伝えたりする。

○「さわやかあいさつ運動」を実施する。

- ・県実施の「令和7年度さわやか運動（10/14～10/17頃）」に合わせて行う。
- ・今年度は「ペア学年のあいさつ運動」を行う。計画委員会が放送等で呼びかけ、校内の意識向上を図る。

アクションプラン 2-の達成状況と方策

強調週間を設け、「学習中に、自分の考えを表し（発言、ハンドサイン等）、伝えることができる」児童の割合が全体の 80%以上になることを目指す。

＜取組状況＞

- ・ハンドサイン等を促すための教師からの積極的な声かけや意図的な指名に努めている。
- ・「間違っても大丈夫」という学級の雰囲気づくりに努めている。

＜達成状況（中間評価）＞

○「できるようになったかな」チェックの結果より（児童の自己評価）

- ・「先生や友達の話を手相手の方を見て最後までよく聞くことができた」・・・94%
- ・「学習中に、自分の考えを表し（発言、ハンドサインなど）、伝えることができた」・・・88%

※「聞く」「話す(表す)」ともに目標の 80%を達成しており、昨年度の 1 学期 (82%) と比べても全体的に向上している。

○「地域指導員の皆様へ」の結果より

- ・「話す人の方を見て話を聞いていた」・・・4 段階中平均 3.0
- ・「進んで話をしようとしていた」・・・4 段階中平均 3.7
- ・自由記述
「質問する児童が多く、積極性を感じました」

＜今後の方策＞

- ・安心して発言をすることができるよう、今後もあたたかな学級風土づくりに努める。
- ・全体での発表ばかりではなく、グループでの話合いや発言の場を設け、まずは安心して自分の考えを表すことができるようにする。
- ・自発的な発表だけではなく、教師による意図的な指名も効果的に行う。（ハンドサインを生かす）
- ・朝や学習の始めに「聞く」「話す・表す」の具体的な目当てをもたせ、学習の終わりや帰りに振り返りを行う。

アクションプラン－３－の達成状況と方策

日頃から体力の向上に取り組み、学期ごとに行う体力テスト（重点項目：握力、上体起こし）において記録が伸びた児童の割合が 80%以上になることを目指す。

＜取組状況＞

- ・「できるようになったかなチェックカード」に「体力づくり」の項目を設け、（体育の学習を除き）１日 30 分以上体を動かすことを意識付けている。

＜達成状況（中間評価）＞

○「できるようになったかな」チェックの結果より

- ・「体育の学習を除き、１日 30 分以上体を動かした」・・・84%

○５月と９月の体力テストの結果より

- ・重点項目「握力」において９月の記録が伸びた児童の割合・・・52%
- ・重点項目「上体起こし」において９月の記録が伸びた児童の割合・・・41%

※１日 30 分以上の運動習慣はおおむねあるが、重点項目の伸びはあまり見られなかった。

＜今後の方策＞

- ・体育委員会が企画する縦割り班での活動、なわ跳び等を全校で実施し、様々な学年が交流しながら楽しく体を動かす機会を設ける。
- ・業間運動を充実させ、動物歩き（クマ歩き、カエルとび、恐竜歩き、クモ歩き）で体幹、握力強化の充実を図り、さらなる体力向上につなげる。